

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科

「みらい学」研究活動特集

「みらい学」特別講義

第二弾



京都大学経済学部教授をお迎えし、

「環境と経済を考える」!

6月24日(金)、「みらい学I」で「経済学」をテーマとした特別講義を実施しました。

今回は京都大学大学院経済学研究科の植田和弘教授が、「環境と経済を考える」と題して、生徒たちに経済学の最前線の内容を分かりやすく語られました。

植田先生は環境経済学の第一人者で、当日の講義で、

- ・環境とは私たち自身である。自然を保護することは自分を大切にすることである。
- ・地球環境問題に関しては、今の人たちが将来世代のことを考えて行動することが大切である。
- ・環境と経済は二律背反ではなく、自然の力をいかす経済のしくみを考えるなど統合していくことが重要である。

などを力説され、生徒たちも真剣に講義に聴き入り、積極的に質問するなど熱心な態度が印象的でした。

生徒たちは、植田先生から提示していただいた研究課題をもとに8班に分かれ、グループで研究活動に取り組み、9月の研究交流会でその研究成果を発表します。



人間は自然において特別な存在であると勘違いしてもおかしくないような現代社会において、人間は自然の一部であるということを考えることはとても重要なことだと思います。そして自然を変えて、技術を創りだしている人間があまりにも発展し続ける事は危険であり、歯止めをかける必要があるのではないかと思います。

西山 希 (福知山市立三和中学校)

環境問題では、直接関係していない人や国が被害を受ける事もあるので、将来を見据えた行動をしなければならないと思いました。

環境にも経済にも良い面を持っているデンマークという国にはびっくりしました。電気をつくることでお金をもらえたり、輸出産業になっているというのはとても良いことだと思います。日本もそういった工夫をするようになれば良いなと思います。

松宮 俊介 (綾部市立何北中学校)



「みらい学Ⅱ」

第1回京都大学連携講座

京都大学の先生方が 文理科学科2年生の 研究活動を直接指導！

6月29日（水）、「みらい学Ⅱ」で第1回京都大学連携講座を開催しました。
当日は京都大学より下記の4名の先生方をお迎えしました。



京都大学地域研究統合情報センター 教授	押川 文子 先生
京都大学大学院情報学研究科 准教授	荒井 修亮 先生
京都大学大学院経済学研究科グローバルCOE助教	奥山 隼一 先生
京都大学総合博物館 研究員	山下 俊介 先生



現在、「みらい学Ⅱ」では、6班に分かれ、それぞれ自分たちの興味ある研究テーマに基づき、研究活動を進めています。この講座では、各班ごとにミーティング形式で、1班あたり約25分間、京都大学の先生方より、それぞれの研究テーマにそくした研究手法について具体例を挙げながらアドバイスをいただきました。自分たちでは気付かない点を丁寧に御指導いただき、今後の生徒たちの研究活動が大きく前進するものと期待されます。

この京都大学連携講座は9月にも実施する予定で、研究発表の手法について学ぶ予定です。

大学の先生と直接お話しができる機会は滅多にないので、今日はとても良い経験ができました。

研究を始める前に目的や定義を明確にしなければならぬということが分かりました。また話を聞いていく中で、これからの研究を進めていく上でのヒントになりそうなことがいくつもあったので参考にしたいと思います。

今日のことを生かして、グループ全員で意見を出し合い、協力して取り組んでいきたいと思っています。

柴田 幸穂（綾都市立豊里中学校）

今日は研究を進めるにあたり、アドバイスをいただき、とても参考になりました。

私たちのグループは「福知山を魅力的な町に」というテーマで、住みやすい町に、観光に来たくなるような町にしたいと思っていました。しかし今日のアドバイスを聞いて、同時にやるのではなく、誰にとって、どういう生活をする人に住みやすい町を目指すのかを明確に決めることで、これからの研究の道筋がとてもはっきり見えました。

岩鼻 春花（福知山市立成和中学校）